

# 競技上の注意（個人戦）

審判長：八百野 真人

## <ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1 マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会ゼッケンを着用する。  
ゼッケンがまだ届いていない場合は、特例として昨年度のゼッケン使用を認める。

## <進行について（別紙1・2）>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。  
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は別紙記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子ダブルス4回戦以降ならびに女子ダブルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女ともにダブルス全部と、シングル3回戦までの試合、2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

## <県大会出場決定戦について>

- 1 男子本戦トーナメント3回戦で負けた選手（組）を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
  - ア ダブルス（県大会出場決定戦における枠数：20組）

第1ステージ	32→16（全16試合）	勝者（16組）は決定、敗者は第2ステージへ
第2ステージ	16→8（全8試合）	勝者は決定
  - イ シングルス（県大会出場決定戦における枠数：12名）

第1ステージ	96→48（全48試合）	勝者は第2ステージへ、敗者は終了
第2ステージ	48→24（全24試合）	勝者は第3ステージへ、敗者は終了
第3ステージ	24→12（全12試合）	勝者（12名）は決定、敗者は終了
- 2 女子本戦トーナメント2回戦で負けた選手（組）を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
  - ア ダブルス（県大会出場決定戦における枠数：12組）

第1ステージ	24→12（全12試合）	勝者（12組）は決定、敗者は終了
--------	--------------	------------------
  - イ シングルス（県大会出場決定戦における枠数：24名）

第1ステージ	48→24（全24試合）	勝者は決定、敗者は終了
--------	--------------	-------------
- 2 11点の3ゲームスマッチ（2ゲーム先取）とする。
- 3 対象者は、本部にて本選の結果処理および敗者審判後、決定戦本部席で参加確認を行う。
- 4 決定戦により、県大会出場の権利を得た場合、決定戦本部席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 5 決定戦初戦の審判は本選の敗者が行い、以降は試合のない決定戦勝者・敗者で指名する。